

査読回答書

内容に関して

・終始，実装に関する技術的な説明がほとんどなので，研究的な要素が何であるかは気になります．
本研究の独自な点はどこですか？この点について強調されると良いかと思います．

回答

通知機構と行動履歴表示に必要な要件に対して，
どのような理由でシステム構成を考えたという過程が独自な点だと考えています．

そのため，
3章のシステム構成でシステムごとの節でその構成に至った理由を追記しました．

細かい指摘

要約

~~ 略 ~~

獣害被害の中でも夜間に発生するのは，
夜間であるが故に視界が悪いことや，農業従事者
が自分の身で直接の対策が困難である．
これまでの対策としては，荒らされた畑や食べられた農作物の痕跡から動物を判断し，
電気柵やネットなどの設置という，動物やその行動に合った対策を対処的に行われている．
しかし，柵に隙間があったり，そもそも想定していた動物でない，対処的な対策故に
原因を特定し適切な対策を取れるまでに大きな手間と時間・費用を要している．

~~ 略 ~~

夜間であるが故に視界が悪いことや、農業従事者が自分の身で直接の対策が困難である。 <- 文章

変更後

該当部分の修正に加えて後半の文章も合わせて修正しました。

~~ 略 ~~

獣害被害の中でも夜間に発生するものは、
害獣の侵入に気づくことが困難であり、日中と異なり農業従事者が直接追い払うことが難しい。
そのため基本的には獣害被害は事後に痕跡から経路や動物を推定して電気柵や対策が取られている。
しかし、害獣の正確な侵入経路がわからないため、
柵の隙間といった不備がある位置がわからないことやそもそも推定した動物が間違っているなど対策が機能しないこと
そのため適切な対策を取るために様々な対策を試す必要があり、大きな手間と時間・費用を要している。

~~ 略 ~~

1 まえがき

~~ 略 ~~

獣害被害の中でも夜間に発生するものは、
夜間であるが故に視界が悪いことや、農業従事者が自分の身で直接の対策が困難である。
これまでの対策としては、荒らされた畑や食べられた農作物の痕跡から動物を判断し、
電気柵やネットなどの設置という、動物やその行動に合った対策を対処的に行われている。
しかし、柵に隙間があったり、そもそも想定していた動物でない、対処的な対策故に
原因を特定し適切な対策を取れるまでに大きな手間と時間・費用を要している。

~~ 略 ~~

夜間であるが故に視界が悪いことや、農業従事者が自分の身で直接の対策が困難である。 <- 文章

変更後

要約の修正と同様に修正しました。

~~ 略 ~~

獣害被害の中でも夜間に発生するものは、

害獣の侵入に気づくことが困難であり、日中と異なり農業従事者が直接追い払うことが難しい。

そのため基本的には獣害被害は事後に痕跡から経路や動物を推定して電気柵や対策が取られている。

しかし、害獣の正確な侵入経路がわからないため、

柵の隙間といった不備がある位置がわからないことやそもそも推定した動物が間違っているなど対策が機能しないこと

そのため適切な対策を取るために様々な対策を試す必要があり、大きな手間と時間・費用を要している。

~~ 略 ~~

2.1.3 Dockerネットワーク

~~ 略 ~~

Dockerには3種類のネットワークが用意されており、

- ・ bridgeネットワーク
- ・ hostネットワーク
- ・ noneネットワーク

があるが、本論文で利用するbridgeのみ説明し、他2種類については説明を省く。

~~ 略 ~~

Dockerには ^ 3種類 <- 以下の

用意されており、-> 用意されている。

であるが -> ここでは

変更後

~~ 略 ~~

Dockerには以下の3種類のネットワークが用意されている。

- ・ bridgeネットワーク
- ・ hostネットワーク
- ・ noneネットワーク

ここでは、本論文で利用するbridgeのみ説明し、他2種類については説明を省く。

~~ 略 ~~

2.1.4 Docker Compose

クラウドサーバ?

回答

ここでは本論文での担当部分であるクラウドサーバ上に用意される複数の機能(通知や履歴表示, 解析など)をDocker Composeを用いて連携させることを表明していました.

現状の文章ではその意図が分かりづらかったので以下のように文章を変更しました.

変更前

~~ 略 ~~

本論文で実装するクラウドサーバの一連のシステムは Docker Compose を用いて作成する.

変更後

~~ 略 ~~

本論文で実装する通知や行動履歴表示といった一連のシステムをまとめて起動・制御するためにDocker Composeを用いる.

2.2.2 Express

Node.jsのフレームワークの一種で,

Node.jsの機能をわかりやすくし基本的なWebアプリケーション機能を比較的軽量で提供してくれるものである[3].

Expressは -> 文頭に追加

提供してくれるものである -> 提供できる

変更後

ExpressはNode.jsのフレームワークの一種で,

Node.jsの機能をわかりやすくし基本的なWebアプリケーション機能を比較的軽量で提供できる[3].

2.4 WebPush

~~ 略 ~~

Push通知を実現する[7]。

~~ 略 ~~

Push通知 -> プッシュ(統一)

変更後

基本的に Push通知 の表記に統一していましたが、

2.4 WebPushの節で プッシュ通知 に表記揺れしていました。

他の章も含めて Push通知 , プッシュ通知 全てを Push通知 に統一しました。

(プッシュ通知 の表記が2.4 WebPushの節内にしか無かったため、そこだけ修正しました。)

3.2.3 Webアプリ(Visualizer-app)

~~ 略 ~~

行動履歴を表示を実現する。

~~ 略 ~~

行動履歴**を表示** -> の

変更後

該当部分が「内容に関して」の改変で削除されました。

4.2.1 ゲートウェイのLTEモジュールとの疎通実験

図9: サーバの受信データ (body情報の一部抜粋) の図内,
と以下の文章について。

~~ 略 ~~

(「host」の"tk2-101-53177.vs.sakura.ne.jp"はクラウドサーバとして利用した
さくらインターネットのVPSのドメインである。)

~~ 略 ~~

ホスト名は伏せては？

変更後

図中のホスト名を伏せて、ホスト名に言及している部分を以下のように変更しました。

(「host」の伏せてある部分はクラウドサーバのホスト名である。)

5 あとがき

~~ 略 ~~

クラウドサーバに関する部分について設計，述べてきた。

~~ 略 ~~

ついて設計，述べてきた <- 文章

変更後

~~ 略 ~~

クラウドサーバに関する部分の設計・実装・動作確認について述べてきた。

~~ 略 ~~

5 あとがき

~~ 略 ~~

まだまだ試験的な部分が大きく，実際に利用するには至らない部分が多い。

~~ 略 ~~

変更後

~~ 略 ~~

まだ試験的な部分が大きく、実際に利用するには至らない部分が多い。

~~ 略 ~~

5 あとがき

~~ 略 ~~

特に優先的に憂慮しなければならないこととして、以下に示すことが挙げられる。

~~ 略 ~~

憂慮 -> 対処？

変更後

~~ 略 ~~

特に優先的に対処しなければならないこととして、以下に示すことが挙げられる。

~~ 略 ~~

5.2 UI・UXの向上

~~ 略 ~~

パソコンなどの操作に慣れていない可能性を考慮する必要がある。

~~ 略 ~~

出る -> ある

変更後

~~ 略 ~~

パソコンなどの操作に慣れていない可能性を考慮する必要がある.

~~ 略 ~~